

ご当地キャラ
企業キャラに
聞きたい！！

そこに居る意味
なんだろう？

～キャラクターの存在理由とは～



討論資料



あなたはご当地キャラ(ゆるキャラ)について どんな印象をお持ちですか？

大変そう

・・・実は、地域を盛り上げるのが大変。理解してもらうのが大変。

- 暑くて ...むしろ熱いです！(着ぐるみハイ[ランナーズハイ]的な意味で)
...実は夏より冬の方がツライです。(店内は暖房効いている・戻ってきても涼めない・下手に外で涼もうとすると汗で体を冷やします)
- 臭くて ...胡散臭さを取り除くためにプロジェクト亞璃紗は
顔を出せる団体化を目指しています。
(着ぐるみに中の人はいないけど、お手伝いをする集団がいますと言えるようになりたい)
...消臭スプレーをしたり、洗濯やクリーニングもされています。
...演者は長袖長ズボンに手袋着用、頭にはタオルを巻いて
着ぐるみに汗がつかないようにしています。
- 重くて ...むしろ看板を背負うっていう責任の方が重いです。

『手を振り続けるだけの楽な仕事』

…そう思われているかもしれません。

その部分については、後ほどふれたいと思います。

けれど、『暑さに耐えて手を振り続ける仕事』
をしているのではなく、
『キャラクターとなってお客様を喜ばせる仕事』
をしているのだと思います。

…そんな部分。

『居ることに意味なんて無いでしょ？』

…そうも思われているかもしれません。

…いやいやいや、そうじゃないんです。

使用方法を読み、申請書を作って、許可が下りて、
そこで初めて駆り(借り)出されるのがゆるキャラです。

むしろ、使用方法や申請書に書いていない事まで
なにを勝手にやっちゃってるの？

…そんな部分。

履歴書を書いて、採用されて 働く従業員と同じです。

『こういう事が出来ます！』『こういう事がやりたいです！』
入社の際には皆さんも履歴書にそういう想いを書いたと思います。
社訓や就業規則、そういったものに賛同し、承諾した上で
就業しているのと同じだと思っています。

それを『理想だから捨てちまえ！』『知ったこっちゃねえよ！』
『ルールは破るためにあるんだ！』みたいな話になってしまっっては、
面接した意味も、履歴書や企画書も、綿密な議案書を通す事も
全て意味などなかった・・・そんなところに辿り着いてしまいます。

何処のどういうキャラクターか？ まで紹介したい

例えば、飯綱高原スキー場のづなっち

- 飯綱高原スキー場のキャラクター。
- からす天狗がモチーフ。
- そもそも飯綱の天狗は八天狗【飯綱三郎天狗】である。
- ジャンケンのポーズがある
- 冬には県短生などがスノーピースとしてスキー場で共に盛り上げ活動をしている。

・・・しかし、ひとたびスキー場を離れたイベント会場では鳥？としか説明されていない。



せっかく登場するからには やれることをやりたいのです！

- 1人でも多くの人に名前を覚えてもらい、名前を覚えてもらう事で自分の地域や企業の事、やっている事を知ってもらえる広告塔としての役割。
- 来場者などとふれあいや交流をして笑顔にし、喜びや温もりを伝え、それが同時に地域や企業のぬくもりを伝える事にも直結できる役割。
- 開会式や閉会式、テープカットの時などステージにいる事で地域や企業の代表として来賓の役割。

でも実際を見てみると、

そこら辺に立っていいから...

で済まされている？

- ボランティア(好きで立っているだけ)なら良いのかも知れません。
- 給料をいただいて働いている以上、それに見合い、期待に添えるような仕事をしなくてはならない？
- 学費を払って学校に通う以上、そこで何かを学び吸収しなくてはならない？

誰かに認められ、信頼され、そこにいる以上
与えられた役割には責任を持ち、全うすべきではないか？

実はご当地キャラ(ゆるキャラ)って 障害者だという見方も出来ると思っています。

- 喋る事が出来ません(一部例外を除く)
- 身動きに物理的な制限があります
- 会場には肉体[着ぐるみ]のみが“かり”出され、キャラクター本来の意思を持ってていないのでは？

(キャラクターの特徴や性格、PRしたいモノを理解してこそ
単なる客寄せパンダとしてではなく、ご当地キャラクターとして
本当の意味で意思を持ってたと言えるのではないか？)

どうしたら役に立てるのだろうか・・・

★ 相手の出来ること・やれる事を理解する。

- キャラクターの管理者と借用者の間では入念なやり取りをしても、借用者と使用者の間では、情報のやり取りがされていない。

(店長と雇用者ではやり取りがあっても、自身と他の従業員のやりとりが無い)

★ お互いにフォローしあえる関係が大事。

- 片方がどれだけ相手を想っても、お互いの信頼関係がないと邪険にされる中、お互いが相手の気持ちを理解していくことが大事。

こちらがどれだけ相手の事を想い、心配したとしても
相手側が心を許してくれなければ、それはただのストーカーに変わる。

ゆるキャラは本番はアイコンタクトすら取れない中、事前打ち合わせが鍵であり
演者はアテンドに命を託さなければならない中で信頼とは何か？

「なれない中でやってるんだもん」

…口を揃えて皆さんこう言います。

- 学生時代などの部活動で県の代表、地域の代表となった時も同じ答えを言っていたのでしょうか？
- 部活動頑張ってたのに代表になれなかった…って涙した選手…実は「慣れなかった」って漢字の方が正しかったのでしょうか？
- 県の代表、地域の代表として馴染めなかった…「馴染めなかった」から悔しかったと言うのでしょうか？

キャラとは地域や企業の代表であり、看板であり、PR大使である中で本番の舞台、人前に立つ前に練習や努力はしたのでしょうか？

そこを限界と決めてしまっっては 今後の伸び代がない……

- 所詮あの人はこんなものでしょ？と決めつけ、線を引いてしまったらそれ以上の信頼関係は築けなくなる。
- 自身もこれには興味・関心がないと蓋をしてしまっっては新たな世界への扉もそこで閉ざされてしまう。
- 着ぐるみは視界の悪いものだと決めつけ、キャラになりきる努力も怠り、自慰行為をしているだけ。

結果として、 何でその子を雇ったの？となってしまう

- 別に自身のイメージを下げてたくて雇った訳ではない。
- 出来ると信じ、伸び代があると思ったから雇ったはず。
- 居る事で周囲にも喜んでいただき、また来たいと思える環境づくり・信頼づくりが出来たらと願ったのかも知れない。

居る事で企業や学校のイメージを下げ、期待に添えないのなら残念ながらクビにするという手段も取らざるを得ないといけなくなる。

そもそも長野市にはこんなにたくさん ご当地キャラがいるんです！



アルクマは県のキャラ



じゃあ逆に、 気負わなくてもいいんじゃない？

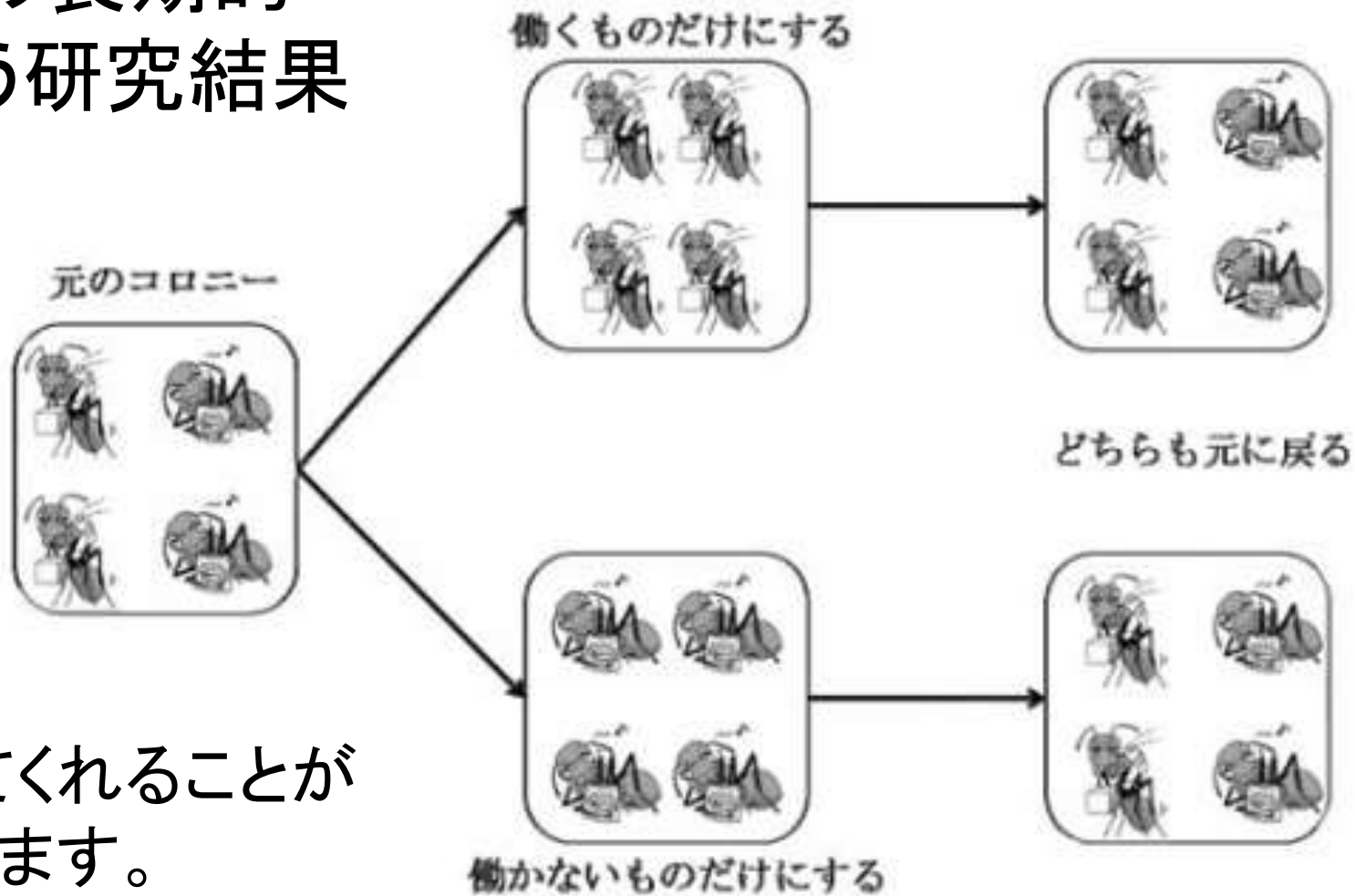
- こんなにも居るんだから1人くらいサボったっていいでしょう？
- やりたい人にやらせて、無理して自分が出ない方がマシ。
- 自分が楽しくなく、苦しいだけなら、学校や会社を辞めて逃げるっていうのも1つの手段としてアリなんじゃないか？
- 自分は自分で生きればいい、**他人**がくたばろうがそんなの気にしないで生きていけばいいんじゃない？
- 誰かに必要とされたいと思ったら動けばいいんじゃない？

「働かないアリ」も必要

「働かないアリ」が集団の長期的存続に欠かせないという研究結果も発表されている。

これは働き蟻が疲れた際の交代要員として働かないアリも大事だと説いたものではありませんが、そこに居てくれることで助かるという場合もある。

賑やかしとして、その場においてくれることがボランティアになる場合もあります。



実は、その場に居る or 来るだけで体力を使っている

特にコミュニケーション障害の人

- 他人がワイワイやってる姿を見ているのが好き。
- 一緒にやるのではなく、自ら声をかけたり交わる気力や勇気は無いけれど、みんなと同じ空気を吸い、同じ空間に居ただけで実はお腹一杯になっている。
- 本人からしたら一緒に居れた事でそこに参加出来たと感じ、案外誰よりも楽しかったという感想を得られたりする事もある。
- まずその場に来れたって事がその子の勇気であり、それに気力を使い切ってしまったので、共に作業出来る程の体力が残っていない場合もある。

それを、「何でアイツは参加しないんだ？」「参加しろよ！」というのは違うと思う。

逆に、「ここだけはモノ申したい！」「これだけだったら一緒にやりたい！」って参加する場合もあるので、周囲からは調子のいい、都合のいい、変な奴だと思われるってしまう場合もあるかもしれない。

けれど人は、人と生きてこそ人

- 生きるとはコミュニケーションをとる事だと人は言う。
- 人は結局、1人で生きていくことは不可能である。
- 心は心とぶつかる事でしか磨かれない。
- 他人やキャラクターを異物だと思わず、同じだと思える事で、共に生きれる世界が見えてくる。
- けれどもも多種多様、相手は自分とは違う事も理解しノーマライゼーションを認められなくてはならない。

大事なものは相互理解

仕事を頼んだら、コミュ障の子でも信頼されたと引き受けてくれたり、「これは無理だけど、ここまでならやってみる！」となる場合もある。

右も左も分からない人に、「それくらい自分で調べろ」と強く当たるのではなく教えた内容よりも **熱意を持って** 教えれば教えた分、あの人は私の事を「思ってくれた」「気にかけてくれた」と感謝の気持ち芽生えるはず。

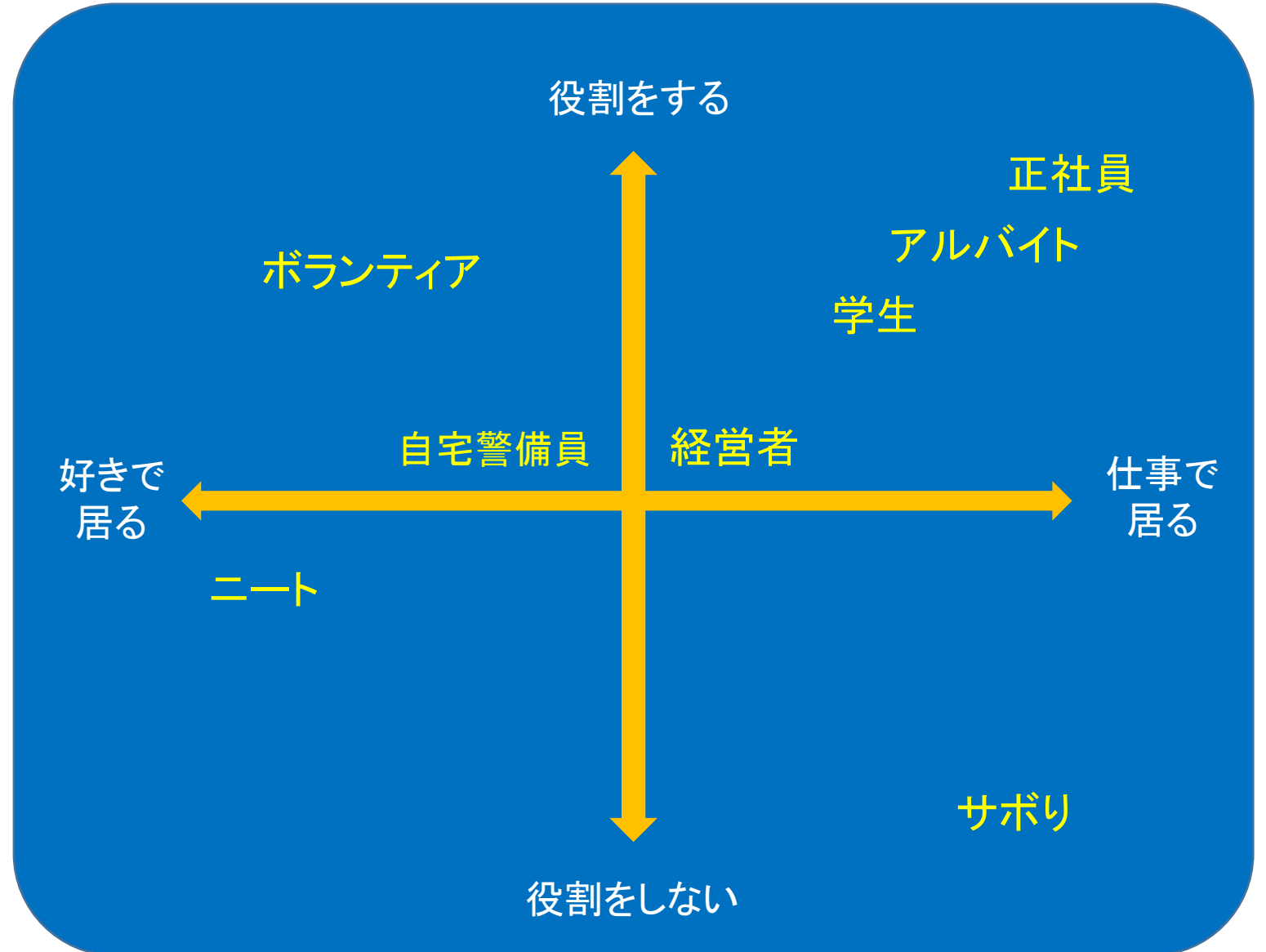
まずは蓋をしないで、相手と向き合うこと。

けれどやっぱり最後は周囲がその人の器量を理解し、受け入れる心が重要になってくるのではないだろうか？

結局、どのイチに居たらよいのだろうか？

※ ここでの **役割をする** とは与えられたモノに従い行動をするかどうかであり、働かないという役割を与えられたなら、それに従っているかどうかを指します。

※ **好きで居る** とは自身の意思で居る場所を指し、**仕事で居る** とは他者の意思も加わって居る場所を指します。



プロジェクト亞璃紗の訴えたいこと！

暑さに耐えて手を振り続ける仕事？

演者

なりきる
が大事

当日の運用をする者

キャラになりきり、来場者に喜んでもらおうよ

当日だけでは
把握が出来ない

心構えの準備

動き方の練習

アイコンタクトも
出来ない

服装・持ち物
確認

きちんと準備して欲しい

きちんと登場して欲しい

キャラ
プロフィール確認

出しとけばいいと思っている？

主催者

扱い方や目的を
運用者に伝える

伝える
が大事

事前打ち合わせが大事

キャラの命も、演者の命も
守らなくてはならない責任

横に立ってるだけの楽な仕事？

気配り
が大事

アテンド

イベントに呼んだ以上
キャラを活かしてあげてよ

表では機密情報を守り、裏では労う事が大事

演者の気遣いやキャラの説明、撮影係をする
何時・何処に・何の目的で登場するかの把握

キャラが生きるも死ぬも
アテンドの腕にかかっているよ

どうしたいかの具体的説明

着ぐるみ(モノ)ではなく、キャラクター(生き物)と見る
[歩幅を考える・手を引っ張らない・後ろから押さない]

どうふれあえば良いかの促し

運営との絶対的な距離感

キャラクターを知って欲しい
写真撮影をしたら拡散して欲しい

来場者

目潰し・叩く・・・などの行為をしない
写真撮影は譲り合い